

生徒・保護者向け 図書館だより

# Breeze ~図書館からの風~

令和6年7月5日

Vol. 4

文責 大田二中図書館司書

いよいよ夏本番。夏休みが楽しみですね。時間に余裕がある夏休みだからこそ、普段できない特別な体験に参加して刺激を受けるのも良いと思います。また外に出なくても疑似体験できる方法があります。それは『読書』です。1人の人間が実際に体験できることに限りがありますが、本を読むことで他の人生や人格に触れ、知識や知恵を得ることができます。ネットに触れる時間を少し減らして、本を読んでみませんか？



## 夏季・特別貸出について

貸出開始 7月 1日(月)  
返却期日 8月 30日(金)  
貸出冊数 5冊

- ☆この期間に読書感想文の本も忘れず借りておきましょう!
- ☆シリーズ本などまとめて読むのも楽しいですね!
- ☆探している本などあれば、気軽に司書に声掛けください!



## 夏休み中の開館について

開館 7月 22日(月)~31日(水) 8時~12時  
本の貸出・返却・調べ学習に利用できます

- ☆夏休みは蔵書点検を行っています(バーコードを読み取る音がします)
- ☆長時間、学習などでは利用できません
- ☆図書館を利用する前後には、日直の先生に言ってから利用しましょう

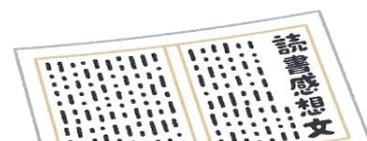
みんなの強敵  
どうする?!  
読書感想文

【なんで書くの?】読書感想文は書くことによって考えを深めます。普段の読書は読んで、感想は自分の心に留めておくのですが、文章にまとめることでより深くその作品を理解し、自分の心に向き合うこともできます。

【書き方のヒント】①本をしっかり読む

②感動した場面に付箋を貼る

③著者の主張を見つけ、自分の経験や行動と重ねて考え、気づきを書く



## 真夏の方程式

東野圭吾 著

文藝春秋



「君は科学の楽しさを知らないだけだ。この世は謎に満ちあふれている。」

天才科学者と称される大学教授、湯川学は資源開発計画のアドバイザーとして、玻璃ヶ浦に向かう道中、恭平という少年に出会う。その後、恭平が泊まる宿で殺人事件が起き、湯川は隠された真実と犯人に気づく。

## 月光の夏

毛利恒之 著

講談社



「では、お母さん、私は笑って元気に往きます。」

突撃の前日、小学校を訪れた特攻隊員は、思い切りピアノを弾きたいと願い、『月光』を弾いた。戦後、老朽化に伴いピアノの処分が検討される中、演奏に立ち会った教師が思い出を語り、大きな反響を呼ぶが...

## 島はぼくらと

辻村深月 著

講談社



「別れる時は絶対に笑顔でいろ。後悔することがあるかもしれないから。」

瀬戸内海に浮かぶ小さな島、冴島に暮らす幼馴染四人、高校生の物語。閉鎖的な島が抱える問題、住む人、訪れた人が持つそれぞれの事情。将来的に島を離れる四人が人と関わりつつ、自分の未来を考えていく。

## バッタを倒しにアフリカへ

前野ウルド浩太郎 著

光文社



人類を救うため、自分の夢を叶えるために、サハラ砂漠に乗り込みバッタ相手の死闘の日々!

昆虫博士を目指し博士号を取得、順風満帆...と思いきや、世の中は博士だらけ。バッタの大群に揉まれながら、アフリカの食糧事情問題を解決、就職も確定!を目指し旅立ったが...。笑える奮闘記。

校長先生に購入していただいた本(毎月1冊・司書のセレクト本を寄贈していただいています)



**ソノリティ はじまりのうた 佐藤いつ子著 KADOKAWA**

合唱コンクールにおいて頑張る中学校1年生が主人公の物語。合唱において努力するが、上手いはず悩み、挫折や困難を経験する中で、少しずつ人間関係に変化が生まれ、合唱に取り組む姿を描く。